

「トイレチップ調査」集計結果概要（速報）

1. 調査概要

目的：山頂トイレの維持管理に関し、受益者負担による仕組みを検討するとともに、仕組みの導入がもたらし得る影響について分析

調査実施者：環境省・鳥取県・大山町（業務請負者：公益財団法人日本交通公社）

調査期間：令和元年8/24（土）～9/16（月）の土日祝合計9日間

調査時間：午前9時～午後3時

調査場所：山頂仮設トイレ周辺

調査方法：トイレを利用した登山者に実験への協力を依頼し、理解を得られた登山者に対して調査票とトイレチップ（任意）を納める封筒を配布、その場で回収

人数：調査票回答者 849 人、非協力者 277 人

2. 調査結果

（1）属性（N=849）

性別：男性 61.2%、女性 37.5%、その他 0.2%、無回答 1.1%

年齢：10代 2.1%、20代 15.7%、30代 17.1%、40代 27.1%、50代 22.7%、60代 11.0%、70代以上 3.3%、無回答 1%

居住地：鳥取県外 75.0%、鳥取県内 23.9%（※米子市内・大山町内 13.8%）、無回答 1.1%

訪問経験：初めて 49.2%、2回 14.5%、3回 8.4%、4回 4.1%、5回 4.9%、6回以上 18.4%、無回答 0.5%

（2）トイレチップの収受

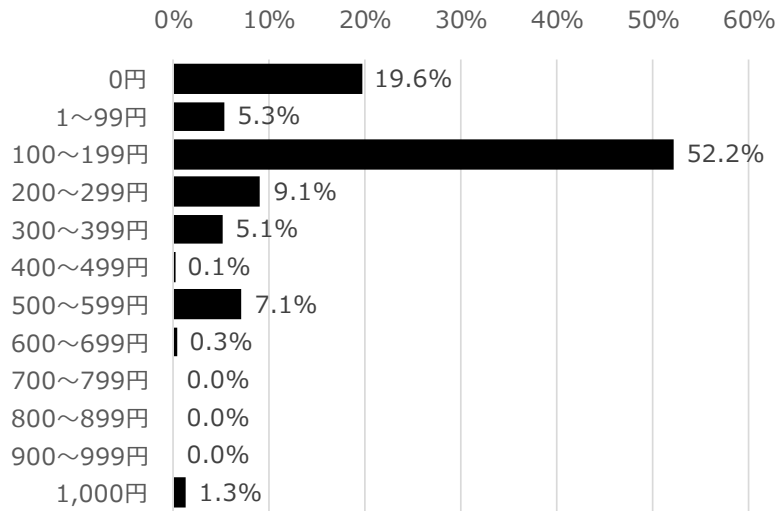
収受金総額：132,750 円

人数：直接の募金者 673 人、間接的な募金者（直接の募金者の同行者）88 人、募金なし 186 人

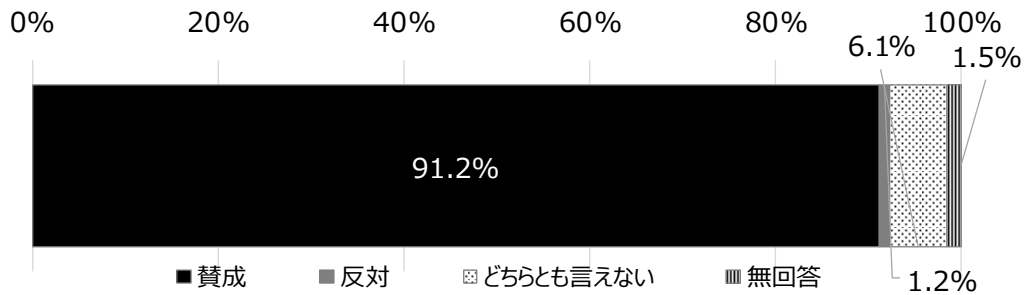
一人あたりの募金額（N=947）：最低 0 円、最高 1,000 円、中央値 100 円、平均値 140 円

募金した人のみの募金額（N=761）：最低 10 円、中央値 100 円、平均値 174 円

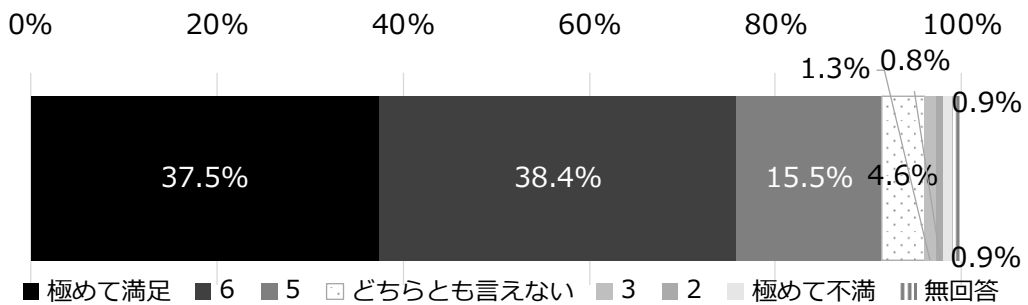
支払額分布 (N=947)



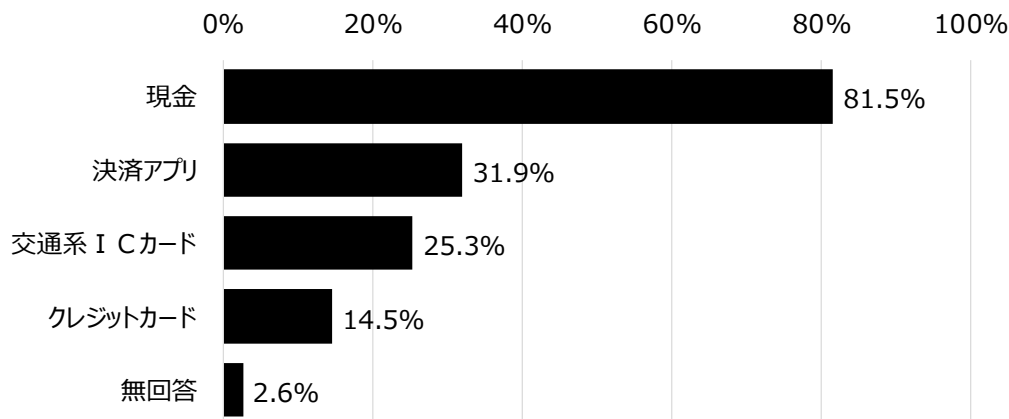
(3) トイレチップ制度導入の賛否 (N=849)



(4) 登山の満足度 (7段階評価) (N=849)



(5) 支払いやすいトイレチップの支払い方法（複数回答）（N=849）



(6) 満足した点・改善した方が良くと思う点（自由記載）

満足した点

- ・ 今回の登山で満足した点（自由回答）を項目別に分類すると、「登山道整備」に関する回答が最も多く 41 件、続いて「景色・植生」が 6 件、「トイレ」（4 件）、「案内板・看板」（4 件）、「山小屋」（4 件）が続いた。ただし、山小屋に関しては現在、改修工事中であり、山小屋の完成を期待する声が多かった。
- ・ 登山道整備については、特に登山道が良く整備されているといった維持管理を評価する回答が多かった。
- ・ 景色については、周辺環境が保全されていることや景観を評価する回答が多かった。
- ・ トイレについては、トイレが設置されていたことを評価する声がほとんどであった。

改善したほうが良くと思う点

- ・ 改善したほうが良くと思う点は、「登山道整備」に関する回答が最も多く 39 件、続いて「トイレ」（34 件）、「設備」（17 件）となった。
- ・ 登山道整備については、登山道の階段の段差が大きい点や老朽化など整備に関する回答が多く見られた。一方で、整備されすぎて山の良さをあまり感じなかったといった回答も見られた。
- ・ トイレについては、登山道の途中にも頂上のトイレと同じものを置いてほしいといった回答が目立った。その他にもトイレの臭いの改善に関する回答がみられた。
- ・ 設備については、登山道の途中に休憩場所や水場を求める回答が目立った。特に休憩場所にベンチを求める回答が多かった。